

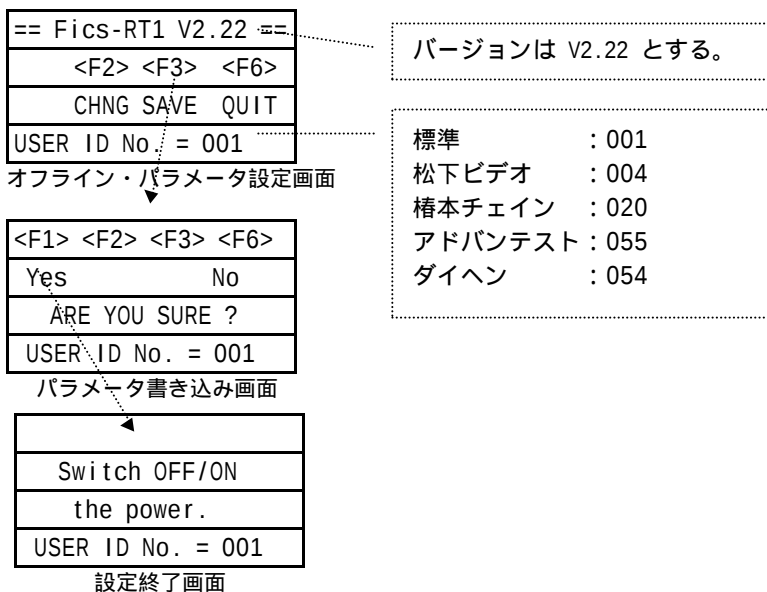
【MASK-ROM一本化対応】

出荷時に何らかの方法で標準もしくはユーザ対応の設定（EEPROM フラグ）ができるような改良を行い、実行時はそのフラグを参照することにより各種処理を制御する。

《出荷設定》

1) キー操作による設定。

標準キーシートの名称で、<'0'>+<'1'>+< >を同時押しすることにより以下画面によるユーザ選択が行えます。



対応する操作キーはすべて標準キーシートの名称位置となります。
設定後は電源の OFF/ON を行うこと。

2) RS232C 通信による設定。

パソコンから<01h><02h><04h><08h><10h>のコードが連続して入力された場合、RT1は以下のエスケープシーケンス処理のみを行う動作モードとなります。
ユーザ設定及び、RS232C パラメータの設定は 'ESC[q' により有効となります。

1) ROMの日付けの確認

ESC[d → RT1からの返信
← <00h>'1999/03/23'<00h> : ROMの日付け

2) ユーザの確認

ESC[0u → RT1からの返信
← <00h>'001'<00h> : Fics-RT1標準
<00h>'004'<00h> : 松下ビデオ
<00h>'020'<00h> : 椿本チェーン
<00h>'055'<00h> : アドバンテスト
<00h>'054'<00h> : ダイヘン

3) ユーザの設定

ESC[1u : Fics-RT1標準
ESC[2u : 松下ビデオ
ESC[3u : 椿本チェーン
ESC[4u : アドバンテスト
ESC[5u : ダイヘン

設定時には各社のデフォルトパラメータが設定されます。

4) RS232C パラメータ設定

ESC[9600N81r : ボーレート 4800 9600 19200
: パリティ N:無し 0:奇数 E:偶数
: ビット長 8 または 7
: ストップビット 1 または 2

5) 設定終了 (設定後は電源の OFF/ON を行うこと)

ESC[q 正常受付時はRT1の表示が以下となります。

Switch OFF/ON
the power.
USER ID No. = 001

設定終了画面

開始処理シーケンス

